

(株)十八楼

岐阜市・飲食・宿泊業(旅館)

従業員数/男性62名 女性103名 計165名 ※令和7年10月現在

エクセレント
POINT

- ①ICT活用により業務を効率化
- ②週1日の休館日を設け休暇取得を促進
- ③旅館の枠を超え、地域の子育て支援や宿泊業におけるWLBの取組み発信にも注力



新たなシステムにより業務効率性が向上。連絡の行き違いや食事のオーダーに関するミスも大幅に減少しただけでなく、伝票の手渡しがなくなったことで精算時もお客様を待たせることがなくなった。

ただでなく、土曜日に預けられる保育園の情報提供や復帰支援プログラムにより手厚くサポートしており、復帰に向けての準備がスムーズにできている。また、勤務時間を保育園の預

かり時間に合わせられるように、配置転換も含めた業務変更などの配慮を行っている。
地域貢献にも注力しており、地域の子は地域で育てていこうとの思いから、宴会場を学習塾「川原町寺子屋」に改装。20名程度の子どもたちが通っている。また、地元学校のコミュニティリーダーや、小中学生の旅館見学の受入れも長年にわたり続けている。

ICT活用で業務効率化とサービス向上を実現

十八楼では、時間外労働を抑え、効率的で質の高い業務を行うため、予約、精算中心だった従来の基幹システムを、レストランのドリンクオーダー、清掃の指示など周辺業務も連携した新しいシステムに更新。従来は紙で行っていた業務を、各自に配布されたスマートフォンやタブレット端末から行えるようになり、手間・ミスともに大幅に減少した。トータルで1日あたり25・5時間の余剰業務を削減でき、業務効率が飛躍的に向上。お客様へ向けたサービスに集中中

きるようになり働きがいにつながっている。また、2021年からは社員の働きやすさの追求やサービス向上研修実施などの理由から週1日の休館日を設けた。休みやすい環境が生まれたことで予定が立てやすくなり、プライベートの充実と仕事のモチベーションアップにつながっている。
育児支援としては、育児休業中の社員に2か月に1回程度会社に来てもらい、近況を報告する機会を設けている。育児休業中であっても会社の状況を知ることができ



十八楼の宴会場を改装した学習塾「川原町寺子屋」には、小学生から高校生までの20名ほどが通っている。